

9月24日の本会議で、市長が提案した決算議案に対して、各会派が代表質疑を行いました。

主な質疑の要旨を発言順に掲載しています。

## わが会派は 決算のここをチェック！

### 会派代表質疑

録画配信は  
こちら⇒



#### 不正請求の早期発見を

日本共産党  
八王子市議会議員団  
望月 翔平



より厳格な審査でサービス向上を

**問** 不正請求を行った市内介護事業所に、市は介護保険法による指定の取り消し処分を行った。事業所の指定時等に不正を見抜けなかったのか。

**答** 指定時やその後の実地検査は、書類を中心に基準の適合状況を審査するため、関係者の通報が発覚の端緒となることが多い。予告なしの検査等、機動的な対応で解明・摘発につながると考えている。

#### 地域通貨事業の評価は

**問** デジタル地域通貨の桑都ペイ事業の委託料が高額で、費用対効果からも中止すべきと考えるが、市の評価は。

**答** イベント時のポイント付与による地域活性化や、ポイント利用で地域内での消費につながったと認識している。効果は多角的に有効性等を分析し判断する必要がある。

#### 猛暑下での運動施設運営は

立憲民主・市民の会

安藤 修三



早朝利用等でより安全な運営を

**問** 猛暑下における、安全なスポーツ環境整備は課題である。今後の運動施設運営について市の考えは。

**答** 6年度、屋内施設では、学校体育館に設置した空調設備の活用等、環境整備を行った。屋外施設も、一年を通じた利用時期などの見直しが必要と考えており、関係団体等の声を聞き検討している。

#### さらなる歴史的魅力の発信を

**問** 6年度も、本市の歴史的魅力を伝える事業を行った。全国へのさらなる発信のため、本市ゆかりの松姫様や北条氏等、大河ドラマへの題材提供が効果的と考えるがどうか。

**答** 大河ドラマの舞台となる自治体は、観光客の増加などの経済波及効果が期待できることから、実現を目指し、積極的に取り組んでいく。

#### 専門人材任用の効果は

自民党新政会

小林 秀司



専門人材確保で対応力強化へ

**問** 人財確保が困難となる中、専門人材確保も重要である。弁護士資格を有する職員を常勤で任用している効果は。

**答** 法的課題に対して迅速な対応が可能となり、法的トラブル等を未然に防ぐ予防法務が強化された。また、弁護士の対応を身近で学ぶことで、職員の法的思考力の醸成等が図れたと考えている。

#### 適正な債権管理を

**問** 生活保護に関する弁償金・返還金の収入率が非常に低いと感じる。公平性の観点から、適正な債権管理が必要と考えるがどうか。

**答** 対象者の約8割が分割納付となっているため、単年度の収入率が低くなる傾向にある。今後も対象者の生活状況を丁寧に確認しながら、適正な債権管理に努めていく。

#### 6年度決算の総括は

八王子市議会公明党

久保井 博美



市民の暮らしを守る市政運営は

**問** 給食費無償化など、市民の暮らしを守る施策を推進した6年度の総括を聞きたい。

**答** 市民の安全・安心な暮らしを確保するとともに、本市の事業の見直しに努めた。今後も行財政運営の持続可能性を確保しつつ、一人ひとりが輝ける八王子の実現に向け、取り組みを進めていく。

#### 障害者支援の今後の体制は

**問** 障害者の高齢化・重度化など複合的な課題が顕在化し、地域生活支援拠点事業※の相談件数も増加傾向にあり、支援ニーズが高まっている。今後の支援体制への考えは。

**答** 地域生活支援拠点事業を含むサービスと、7年度に運用開始した基幹相談支援センターによる相談支援体制の強化により、両面から支援を行い体制づくりを進めていく。

※既存の福祉制度や障害福祉サービスにはないさまざまな支援を切れ目なく提供し、障害者が住み慣れた地域で安心して暮らせることを目的とする事業